

令和5年度

# 「運営に関する計画」

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

大阪市立東井高野小学校

令和5年10月

大阪市立東井高野小学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 全国学力・学習状況調査、大阪市小学校学力経年調査の児童質問紙の「学校のきまりを守っている」「人の役に立ちたい」「自分には良いところがある」という規範意識、自己肯定感には課題がある。【安全・安心な教育の推進】【未来を切り拓く学力・体力の向上】の向上にはキャリア教育の充実を図り、一人ひとりの良さを伸ばす取り組みをする必要がある。
- 生活指導上の課題として不登校児童問題がある。家庭や関係諸機関と連携する必要がある。また、いじめに関する意識は「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」の肯定的な回答は充分ではない。児童のいじめに対する意識の高揚が必要である。
- 大阪市小学校学力経年調査の結果の標準化得点では 95～105 ポイントの中で推移し、また、全国学力・学習状況調査でも全国平均とは開きがあり、学習内容の定着、基礎・基本の定着に課題があることがわかる。自主学習の確立や読書活動を充実していく必要がある。また、無回答率の多さからも学習に対して無関心である児童だけでなく、さらに家庭も無関心であることが多いことも考えられる。そこで、「わかる」授業を積み重ねることで学習に対しての意欲や関心を高めることが大切であると考えられる。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、体力合計点では男女とも全国平均を上回っている。これまでの体育科学習の積み重ねの成果と考えられる。また、広い運動場や一部の芝生化など、これらを活用して日頃から遊び・運動に親しむ機会が多いことと、地域での活動が功を奏している。一方で下回っている種目もあるため、それらが課題として考えられる。
- 教育活動に ICT 機器を導入し授業や学校活動に活用してきた。さらに、新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組の一環として一人一台端末を授業配信や生活指導に学校や家庭で使用している。しかし、一人一台端末以外の ICT 機器の有効的な活用方法や一人一台端末の使用法、情報モラルなどの課題があり、今後は、より良い活用を構築することが必要である。
- 教育委員会と学校がともに取組を着実に推進し、教職員の長時間勤務の解消を通じ、教職員が子どもたちの前で健康で生き生きと働くことができ、子どもたち一人ひとりに向き合う時間の確保が課題である。

## 中期目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の大阪市小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
- 年度末の校内調査における「学校に行くのは楽しい」に対して肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。
- 令和7年度の大阪市小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。
- 令和7年度の大阪市小学校学力経年調査における「自分には、良いところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- 令和7年度の大阪市小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。
- キャリア教育の充実に向け、児童の発達段階に応じ社会見学や出前授業を実施し、令和7年度の大阪市小学校学力経年調査における「将来の夢や目標を持っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- 令和7年度末の校内調査における「人の気持ちを考えて行動できる人間になりたいと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を40%以上にする。
- 校内調査における「授業の内容はよく分かりますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の大阪市小学校学力経年調査における「学校で出された宿題以外に、自分で計画を立てて学習(予習・復習など)をしていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を55%以上にする。
- 大阪市小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 大阪市小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 大阪市小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を75%以上にする。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点が男女とも全国平均を上回る。
- 令和7年度末の校内調査における「正しく手洗いをしている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。
- 令和7年度末の校内調査における「いつもハンカチを身につけている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- 令和7年度末の校内調査における「朝食を毎日食べていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度末の校内調査における「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」に対して、「ほぼ毎日」と回答する児童の割合を100%にする。
- 令和7年度末には、「ゆとりの日」を週1回以上設定する。学校閉庁日については、夏季・冬季休業中に3日以上設定する。
- 令和7年度の大阪市小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 「大阪市子ども読書活動推進計画」に基づき、家庭、地域、学校が連携をすることで、読書環境の整備と読書週間の形成を図る。
- 令和7年度末の校内保護者調査における「学校は家庭・地域との連携を密にとっている」に対して肯定的に回答する保護者の割合を95%以上にする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【安全・安心な教育の推進】

#### 全市共通目標（小学校）

- 大阪市小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を87%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

#### 学校園の年度目標

- 年度末の校内調査における「学校に行くのは楽しい」に対して肯定的に回答する児童の割合100%をめざす。
- 大阪市小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度（前年度同調査94.7%）以上にする。
- 大阪市小学校学力経年調査における「自分には、良いところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 大阪市小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度水準（前年度同調査96.8%）にする。
- キャリア教育の充実に向け、児童の発達段階に応じ社会見学や出前授業を実施し、大阪市小学校学力経年調査における「将来の夢や目標を持っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を89%以上にする。
- 校内調査における「人の気持ちを考えて行動できる人間になりたいと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度水準（前年度同調査97.8%）にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

#### 全市共通目標（小学校）

- 大阪市小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を前年度水準以上（昨年度同調査41%）にする。
- 大阪市小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント向上させる。
- 大阪市小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度（昨年度同調査79.4%）以上にする。
- 大阪市小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
- 大阪市小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を72%以上にする。

#### 学校園の年度目標

- 校内調査における「授業の内容はよく分かりますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合100%をめざす。
- 校内調査における「学校で出された宿題以外に、自分で計画を立てて学習（予習・復習など）をしていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を50%以上にする。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点が男女とも全国平均を上回るようにする。
- 校内調査における「正しく手洗いをしている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度水準（前年度同調査97.1%）にする。
- 校内調査における「いつもハンカチを身につけている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。
- 校内調査における「朝食を毎日食べていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度（前年度同調査94%）以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

#### 全市共通目標（小学校）

- 校内調査における「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」に対して、「ほぼ毎日」と回答する児童の割合を前年度（前年度同調査82.9%）以上にする。
- 「ゆとりの日」を週1回以上設定する。年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を80%以上にする。学校閉庁日については、夏季・冬季休業中に3日以上設定する。

#### 学校園の年度目標

- 令和7年度の大阪市小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 「大阪市子ども読書活動推進計画」に基づき、家庭、地域、学校が連携をすることで、読書環境の整備と読書習慣の形成を図る。
- 令和7年度末の校内保護者調査における「学校は家庭・地域との連携を密にとっていている」に対して肯定的に回答する保護者の割合を前年度水準（前年度同調査97.3%）にする。

## 大阪市立東井高野小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【安全・安心な教育の推進】</b> <b>全市共通目標(小学校)</b> ○大阪市小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を87%以上にする。 ○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 ○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 <b>学校園の年度目標</b> ○年度末の校内調査における「学校に行くのは楽しい」に対して肯定的に回答する児童の割合100%をめざす。 ○大阪市小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度(前年度同調査94.7%)以上にする。 ○大阪市小学校学力経年調査における「自分には、良いところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 ○大阪市小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度水準(前年度同調査96.8%)にする。 ○キャリア教育の充実に向け、児童の発達段階に応じ社会見学や出前授業を実施し、大阪市小学校学力経年調査における「将来の夢や目標を持っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を89%以上にする。 ○校内調査における「人の気持ちを考えて行動できる人間になりたいと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度水準(前年度同調査97.8%)にする	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<b>取組内容①【基本的な方向番号1、安全・安心な教育環境の実現】</b> いじめ(いのち)について日々の学校生活の中で考える機会を設定し、「いじめはぜったいにいけないことだ」という意識を高める。 (いじめへの対応) <b>指標</b> 「いじめ(いのち)について考える日」を学期に1回設定し、「いじめはぜったいにいけないことだ」という意識の高揚を図る。	B
<b>取組内容②【基本的な方向番号1、安全・安心な教育環境の実現】</b> 児童会行事の充実、児童のたて割り(異学年交流)活動の充実を図り、児童にとって楽しい学校生活ができるようにする。 (不登校への対応) <b>指標</b> 児童会を中心にがんばったことや良いことを褒めて自己肯定感を高める週間を設置する。また、わかる授業や有意義な行事をすることで自他を認め合えるようにする。	B
<b>取組内容③【基本的な方向番号1、安全・安心な教育環境の実現】</b> 安全で安心な学校生活ができるようあらゆる機会(児童朝会や学級活動)を通して、規範意識の高揚を図る。 (問題行動への対応) <b>指標</b> 大阪市小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を前年度(前年度同調査94.7%)以上にする。	B
<b>取組内容④【基本的な方向番号2、豊かな心の育成】</b> 社会見学や出前授業で新しい知識を増やし、児童がキャリアを考える機会を策定する。また、将来の夢や目標を持ち、自己有用感を持つとともに自他を尊重する心を育む。 (キャリア教育の充実) <b>指標</b> 全学年で、社会見学や出前授業を年間1回以上実施する。また、学期毎や行事毎でキャリアパスポートや振り返りシートを活用する。	B
<b>取組内容⑤【基本的な方向番号2、豊かな心の育成】</b> 体験学習の充実や系統立てた人権教育を通して、多様な価値観を知るとともに、互いに他を認め、人の気持ちを考えたり思いやったりする心を育む。 (人権を尊重する教育の推進)(インクルーシブ教育の推進) <b>指標</b> 体験学習(車いす体験など)を取り入れた共生教育の充実を図る。また、人権教育年間指導計画に基づいた取り組みを、各学年学期に1回以上行い、年度末に成果と課題を共有する。	B

## 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

### 全市共通目標(小・中学校)

#### ○【取組内容①】 参照

○前年度の不登校児童の在籍比率は2.2%であった。現在の在籍比率は2.4%である。

○今年度、出席数が増え登校する機会が増えている児童もいる。また、一人一台端末の使用により学校と連携が取れるようになっている。

### 学校園の年度目標

○校内調査(10月・全学年実施)における「学校に行くのは楽しい」に対して肯定的に回答する児童の割合が94.1%(昨年度同調査91.0%)であった。

#### ○【取組内容③】 参照

○校内調査(10月・3～6年生実施)における「自分には、良いところがあると思いますか」に対して肯定的に回答する児童の割合が83.5%(昨年度大阪市小学校学力経年調査71.8%)であった。

○校内調査(10月・3～6年生実施)における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して肯定的に回答する児童の割合が96.8%(昨年度大阪市小学校学力経年調査96.8%)であった。

○校内調査(10月・3～6年生実施)における「将来の夢や目標を持っていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合が85.7%(昨年度大阪市小学校学力経年調査88.6%)であった。

○校内調査(10月・全学年実施)における「人の気持ちを考えて行動できる人間になりたいと思う」に対して肯定的に回答する児童の割合が97.6%(昨年度同調査97.8%)であった。

取組内容① “いじめ(いのち)について考える日”を一つのきっかけとして、学級(学級活動や朝の会・終わりの会)や児童朝会などを通して、児童一人一人に“いじめは絶対にいけないこと”という意識付けができるような声掛けを行ってきた。校内調査(10月・全学年実施)における「いじめはどんな理由があってもしてはいけないと思いますか」に対して最も肯定的な回答が92.3%であり、目標(87%)を上回っている。

取組内容② 児童会活動の充実については、集会委員会を中心にたて割り班による児童集会を定期的に実施した。運動会などの学校行事を通して、児童会(代表委員会)を中心に開会式や閉会式を実施したり、運動会のスローガンを決めて運動会を盛り上げたりした。

取組内容③ 児童朝会や学級活動の時間を活用して、定期的に学校生活を安全・安心に過ごせるような働きかけや声掛けをした。校内調査(10月・全学年実施)における「学校のきまりを守っていますか」に対して肯定的な回答が94.7%であり、目標(昨年度同調査90.9%)を上回っている。

取組内容④ 年度当初に計画していた社会見学や出前授業は計画通りに実施できている。また、必要に応じてゲストティーチャーを招聘した授業も実施した。1学期初めと、運動会後のキャリアパスポートでのふり返りも実施した。

取組内容⑤ 日々の学校生活を通して、互いに他を認め、人の気持ちを考えたり思いやったりする心の育成に努めている。また、人権教育や体験学習に関しても、計画に基づき取り組むことができている。

## 今後の改善点

### 全市共通目標(小・中学校)

- 【取組内容①】参照
- 今後も継続指導する必要がある。
- 今後も継続指導する必要がある。

### 学校園の年度目標

- 今後も、行事や学級活動、たて割り班活動などを通し、安全で安心な学校づくりの取り組みを推進する。
- 【取組内容③】参照
- 今後も、継続指導をし、自尊感情や自己肯定感を高める。
- 今後も、継続指導をし、自己有用感を高める。
- 今後も、継続指導をし、夢や希望、将来の自己イメージの獲得に努める。
- 今後も、継続指導をし、自他の尊重ができるように育む。

取組内容①「いじめについて考える日」をきっかけとして、児童一人一人が“いじめは絶対にしてはいけない”という意識を持つための声掛けを、日々の活動（学級活動や朝の会・終わりの会など）や児童朝会などを通して行っていく。

取組内容②11月には、全校遠足を予定しており、その中でたて割り班による活動（オリエンテーリング）を実施する。異学年間の交流を通して、高学年は低学年を労わったり助けたりすることで自己肯定感を高め、低学年はそのような高学年の姿に接することで、高学年に向けて“自分もこうなりたい”という自己肯定感を高めるようにしていく。

取組内容③“学校のきまり”を周知徹底し、ルールを守ることの大切さや、きまりを守ることがひとりひとりの学校生活を円滑にすることを、児童朝会や学級活動を通して推進する。

取組内容④今後も、年度計画に則り、社会見学や出前授業を行い、児童自らがキャリアを考える機会としていく。

取組内容⑤今後、計画されている人権教育や体験活動などを実施し、共生教育の充実を図る。また、自分のことをふり返る時間を大切にしながら、学校生活の中で人の気持ちを考えたり思いやったりする心を育んでいく。

## 大阪市立東井高野小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p><b>全市共通目標(小学校)</b></p> <p>○大阪市小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を前年度水準以上(昨年度同調査 41%)にする。</p> <p>○大阪市小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.02 ポイント向上させる。</p> <p>○大阪市小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度(昨年度同調査 79.4%)以上にする。</p> <p>○大阪市小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。</p> <p>○大阪市小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 72%以上にする。</p> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <p>○校内調査における「授業の内容はよく分かりますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合 100%をめざす。</p> <p>○校内調査における「学校で出された宿題以外に、自分で計画を立てて学習(予習・復習など)をしていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 50%以上にする。</p> <p>○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点が男女とも全国平均を上回るようにする。</p> <p>○校内調査における「正しく手洗いをしている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度水準(前年度同調査 97.1%)にする。</p> <p>○校内調査における「いつもハンカチを身につけている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 87%以上にする。</p> <p>○校内調査における「朝食を毎日食べていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度(前年度同調査 94%)以上にする。</p>	B



年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向番号4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>校内研究教科を昨年度に引き続き国語科とし、「主体的・対話的で深い学び」の視点から、授業の充実と改善を図る。</p> <p>(言語活動・理数教育の充実(思考力・判断力・表現力等の育成)) (「主体的・対話的で深い学び」の推進(各学校の実態に応じた個別の支援の充実))</p> <p>指標 校内調査における「授業の内容はよく分かりますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合 100%をめざす。</p>	B
<p>取組内容②【基本的な方向番号4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>計画的に系統立てた国語科のモジュール学習に取り組み、書く力へとつながる基礎・基本の定着を図る。</p> <p>(言語活動・理数教育の充実(思考力・判断力・表現力等の育成)) (「主体的・対話的で深い学び」の推進(各学校の実態に応じた個別の支援の充実))</p> <p>指標 国語科のモジュール学習を週1回実施することで学力の定着を図り、大阪市小学校学力経年調査における言語領域の漢字(読み書き)の正答率を前年度以上にする。</p>	B
<p>取組内容③【基本的な方向番号4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>授業で学習したことを振り返ったり、深めたりするためにプラスノートを活用する。</p> <p>(言語活動・理数教育の充実(思考力・判断力・表現力等の育成)) (「主体的・対話的で深い学び」の推進(各学校の実態に応じた個別の支援の充実))</p> <p>指標 校内調査における「学校で出された宿題以外に、自分で計画を立てて学習(予習・復習など)をしていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を50%以上にする。</p>	B
<p>取組内容④【基本的な方向番号4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>理科の学習の中で、各学年の実態に合わせ、実験や観察などの体験的な学習を通し、興味・関心を高め、児童の参加感を大切に授業の充実と改善を図る。</p> <p>(理数教育の充実)</p> <p>指標 大阪市小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度(昨年度同調査79.4%)以上にする。</p>	B
<p>取組内容⑤【基本的な方向番号4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>大阪市の派遣事業による外国人講師(C-NET)と連携を図り、児童が英語に対しての興味・関心を高められる学習活動に取り組む。また、児童が前向きな気持ちで学習に参加できるよう授業改善を図る。</p> <p>(英語教育の強化)</p> <p>指標 英語による絵本の読み聞かせを各学期に1回以上実施する。また、校内で2回の公開授業を行い、授業改善につなげる。</p>	B
<p>取組内容⑥【基本的な方向番号5、健やかな体の育成】</p> <p>運動に親しむ機会を設けたり、用具の充実を図ったりして、進んで体力づくりに取り組めるようにする。</p> <p>(体力・運動能力向上のための取組の推進)</p> <p>指標 校内調査における「休み時間や体育の時間に楽しく体を動かすことができた」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を前年度水準(前年度同調査91.3%)にする。</p>	B
<p>取組内容⑦【基本的な方向番号5、健やかな体の育成】</p> <p>“朝ごはんの大切さ”を知り、朝ごはんを食べると生活リズムが整うことや、1日の活動(学習することや体を動かすこと)への充実につながることを理解する。</p> <p>(健康教育・食育の推進)</p> <p>指標 “朝ごはんの大切さ”についての健康教育、食に関する指導を年間1回以上する。さらに、通信を1回以上発行し家庭へ啓発を行う。</p>	A
<p>取組内容⑧【基本的な方向番号5、健やかな体の育成】</p> <p>手洗いやハンカチを身につける習慣がつくよう強調週間を設定し、健康保持に対する意識を高める。</p> <p>(健康教育・食育の推進)</p> <p>指標 保健美化委員会が中心となり活動する強調週間を年間1回以上実施することで、健康保持に対する意識を高める。</p>	B

## 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

### 全市共通目標(小・中学校)

- 校内調査(10月・3～6年生実施)における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を48.5%(昨年度同調査40.5%)であった。さまざまな学習活動で対話を重視してきている成果がでてきている。
- 国語科においては、研究教科や校内研修で授業改善を図っている。算数科においては、習熟度別少人数授業を実施し、きめ細やかな学習の推進をしている。
- 校内調査(10月・3～6年生実施)における「理科の勉強は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合が82.0%と前年度の大阪市小学校学力経年調査79.4%を上回っている。
- 【取組内容⑤】参照
- 体育の授業では運動やスポーツに興味・関心がわく取り組みを実践し、休み時間は担任が中心となり運動場で一緒に体を動かすことをしている。校内調査(10月・3～6年生実施)における「休み時間や体育の時間に楽しく体を動かしている」に対して最も肯定的に回答する児童の割合が64.6%(昨年度大阪市小学校学力経年調査71.8%)であった。

### 学校園の年度目標

- 【取組内容①】参照
- 【取組内容③】参照
- 体育の授業では運動やスポーツに興味・関心がわく取り組みを実践し、休み時間は担任が中心となり運動場で一緒に体を動かすことをし、運動に親しむ機会を継続的に推進している。
- 【取組内容⑧】参照
- 【取組内容⑧】参照
- 【取組内容⑦】参照

取組内容①校内研修を通じ「主体的・対話的で深い学び」について追究し、授業改善を図っている。校内調査(10月・全学年実施)における「授業の内容はよく分かりますか」に対して肯定的に回答する児童の割合が94.8%と非常に高かった。

取組内容②計画的に国語科のモジュール学習に取り組むことができている。また、定期的に取り組み内容の見直しも行っている。

取組内容③全学年でプラスノートを活用していることで、家庭学習に取り組もうとする意欲は育ちつつある。校内調査(10月・全学年実施)における「学校で出された宿題以外に、自分で計画を立てて学習(予習・復習など)をしていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合は69.2%となっている。また、同調査より高学年になると、低学年より取り組み意識が低いことが分かった。

取組内容④学習計画に沿って、児童が主体的に取り組むことができる実験や観察などの体験的な学習を、多く取り入れるようにしている。

取組内容⑤C-netと連携を図り、楽しく学習に取り組んでいる。また、英語絵本の読み聞かせ、指導要請の計画を立てて、授業改善に取り組んでいる。

取組内容⑥各担任の声かけや、学級での取り組みを通して、運動に親しむ機会を継続的に推進している。校内調査(10月・全学年実施)における「休み時間や体育の時間に楽しく体を動かすことができた」の項目について、肯定的に回答する児童の割合は92.0%(前年度同調査91.3%)であった。

取組内容⑦“朝ごはんの大切さ”についての指導を、計画通りに実施できている。校内調査(10月・全学年実施)における「朝食を毎日食べていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合が94.8%であり、目標(94%)を上回った。しかし、朝ご飯の栄養素の偏り(脂質・糖質が多くビタミンやカロテンが少ない)が見られたり、朝ご飯を食べなかったりする児童がまだいる。

取組内容⑧校内調査(10月・全学年実施)における「正しく手洗いをしている」に対して肯定的に回答する児童の割合が95.5%(昨年度同調査97.1%)であった。一方、「いつもハンカチを身につけている」に対して肯定的に回答する児童の割合は85.3%(昨年度同調査85.4%)であった。

## 今後の改善点

### 全市共通目標(小・中学校)

- 今後も、授業改善や研修を重ね、「主体的・対話的で深い学び」の充実を図る。
- 今後も、きめ細やかな授業や支援に取り組み、基礎・基本の定着を図る。
- 各学年の実態に合わせ。興味・関心が高まる工夫や実践に取り組む。
- 外国語への興味・関心を高める取り組みを図っていく。
- 今後も、運動やスポーツへの興味・関心を高める活動を推進する。

### 学校園の年度目標

- 学習への興味・関心はしっかりと高まってきているので、学ぶことへの意欲につなげられるように、さらに改善を図る必要がある。
- 目標を持った家庭学習につなげられるように、工夫をしていく必要がある。
- 今後も、運動やスポーツへの興味・関心を高める活動を推進する。
- 【取組内容⑧】参照
- 【取組内容⑧】参照
- 【取組内容⑦】参照

取組内容①授業の内容を「わかりやすい」と感じている児童は多い。しかし、学習内容の理解が十分ではない児童も多く、基礎学力の定着を図る必要もある。

取組内容②視写や漢字の復習を取り入れるなど、昨年度から取り組み内容の見直しを図っている。今後も基礎学力の定着を目指し、内容の充実に取り組む。

取組内容③高学年になるにつれ、家庭学習に対する取り組み意欲が下がっている。そのため、目標をもって意欲につなげ、家庭学習に取り組めるようにする必要がある。

取組内容④今後も実験や観察などの体験的な学習を通し、興味・関心を高められるような授業を行い、児童の参加感を高めていく。

取組内容⑤英語の絵本の読み聞かせに取り組み、児童の興味・関心を高めていく。また、指導要請などを通し授業改善にも取り組んでいく。

取組内容⑥みんな遊び等の学級での取り組みを推進する。また、遊び用具を充実させる。運動委員会で新しい遊びの紹介をしたり、たてわり班での遊びをしたりする。

取組内容⑦“朝ごはんの大切さ”について継続指導をし、朝ご飯の質の向上や長期休業でも普段と同じように朝ご飯を喫食することの大切さについての意識改善を図る。

取組内容⑧手洗い強調週間などを設定し、感染症対策を図るとともに、ハンカチを身に着けることにも重点を置く。

## 大阪市立東井高野小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【学びを支える教育環境の充実】</b> <b>全市共通目標(小学校)</b> ○校内調査における「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」に対して、「ほぼ毎日」と回答する児童の割合を前年度(前年度同調査 82.9%)以上にする。 ○年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を80%以上にする。また、学校閉庁日については、夏季・冬季休業中に3日以上設定する。 <b>学校園の年度目標</b> ○令和5年度の大阪市小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 ○「大阪市子ども読書活動推進計画」に基づき、家庭、地域、学校が連携をすることで、読書環境の整備と読書習慣の形成を図る。 ○令和5年度末の校内保護者調査における「学校は、学校だより・ホームページ等で、教育方針や教育活動の様子をわかりやすく伝えている」に対して肯定的に回答する保護者の割合を前年度水準(前年度同調査 97.3%)にする。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<b>取組内容①【基本的な方向番号6、教育DX(デジタルフォメーション)の推進】</b> (【基本的な方向番号1、安全・安心な教育環境の実現】) 学習者用端末を用いて、スクールライフノートや発達段階に応じたデジタルコンテンツを積極的に活用する。また、児童の取組を随時把握し、学級経営や学習指導にフィードバックさせる。 (ICTを活用した教育の推進) { (いじめへの対応) (不登校への対応) } <b>指標</b> 日々の活動を毎日スクールライフノートに記録させる。学習場面では学習者用端末を活用し、それらの内容を活用状況に応じ適宜確認する。	B
<b>取組内容②【基本的な方向番号7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</b> 「ゆとりの日」を週1回以上設定する。年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を80%以上にする。また、長期休業中は計画的に休暇等取得する。学校閉庁日については、夏季・冬季休業中に3日以上設定する。 (働き方改革の推進) <b>指標</b> 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を80%以上にする。また、夏季・冬季休業日の閉庁日は3日以上設定し、教職員の健康管理を行い、働き方改革に努める。	B
<b>取組内容③【基本的な方向番号8、生涯学習の支援】</b> 児童の読書のきっかけづくりを、「朝の読書タイム」などを通し、家庭・地域と連携して行う。また、家での読書時間を増やしていけるよう、家庭への啓発を行う。 (「大阪市子ども読書活動推進計画」に基づいた取組)(学校図書館の活性化) <b>指標</b> 週1回以上「朝の読書タイム」を行うとともに、年間3回(各学期1回)の読書週間をすることで、児童の読書への意欲を高める。また、保護者にも「大阪市子ども読書活動推進計画」の取組の周知をし、地域・保護者と連携して読書ができるようにする。	B
<b>取組内容④【基本的な方向番号9、家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】</b> 地域と保護者の朝の見守り隊や読書読み聞かせ隊など、学校・地域・家庭が連携する機会を設ける。また、学校協議会、はぐくみネット事業が学校の運営に参画し、連携を深める。 (教育コミュニティづくりの推進) <b>指標</b> 家庭には、教育活動の取組を毎月「学校だより」や、日々ホームページで配信し、参画できる機会を設ける。地域には、学校協議会やはぐくみネット事業が学校運営に参画できるよう連携を図る。	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<b>全市共通目標(小・中学校)</b>	
○【取組内容①】参照 ○【取組内容②】参照	
<b>学校園の年度目標</b>	
○校内調査(10月・3～6年生実施)における「読書は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合は73.8%(昨年度同調査72.1%)であった。 ○【取組内容③】参照 ○【取組内容④】参照	
<p>取組内容①毎朝のスクールライフノート「こころの天気」への入力や、学習場面でのデジタルドリル(ナビマ)などの活用を図っている。校内調査(10月・全年生実施)における「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」に対して、「ほぼ毎日」と回答する児童の割合は92.5%であり、目標(82.9%)を上回っている。</p> <p>取組内容②「ゆとりの日」を週1回、夏季休業日の閉庁日は6日設定し、長期休業中は計画的に休暇等取得するようにした。教職員は年次有給休暇を10日以上取得できるよう、随時給有給休暇を取得している。働き方改革に努めることで、本校の時間外勤務時間は大阪市平均に近づいている。</p> <p>取組内容③読書週間を計画通り実施、また、図書館ボランティアや地域の読み聞かせ隊とも連携することで読書への意欲を高めている。</p> <p>取組内容④家庭には、教育活動の取組を毎月「学校だより」や、日々ホームページで配信したり、保護者には行事でのアンケートをしたりし、参画できる機会を設けている。また、地域には、学校協議会が学校運営に大いに参画できるよう連携を図っている。その結果、学校運営や行事等に家庭や地域が協力できている。</p>	
今後の改善点	
<b>全市共通目標(小・中学校)</b>	
○今後も、継続指導をし、一人一台端末の活用を推進する。 ○【取組内容②】参照	
<b>学校園の年度目標</b>	
○今後も、継続指導をし、読書活動を推進する。 ○【取組内容③】参照 ○【取組内容④】参照	
<p>取組内容①毎日の「こころの天気」への入力が定着している反面、日々の学習場面での活用状況に差があるので、一人一台端末の活用頻度を高める必要がある。各学級週1回以上の活用とその都度のフィードバックを目指すとともに、モジュール学習でも活用できるよう、取り組みをすすめていく必要がある。</p> <p>取組内容②退勤時間を早めることを意識し、引き続き計画的に校務を進める。冬季休業中も計画的に休暇等取得する。また、随時給有給休暇を取得し、年次有給休暇を10日以上取得できるようにする。今後も、計画的かつ効率よく校務に取り組み、時間外勤務時間を減少させる。</p> <p>取組内容③今後も、読書に親しむことができるような読書週間の取り組みを実施し、図書館だより等を通して「大阪市子ども読書活動推進計画」の取り組みの周知を図っていく。</p> <p>取組内容④今後も、状況を維持し取り組みを推進する。</p>	